大規模災害から命と暮らしを守るための 熊本市避難所開設・運営マニュアル

1. マニュアルの位置付け

★「熊本市避難所開設・運営マニュアル」は、東日本大震災や熊本地震のように 「突発的かつ大規模な災害発生した場合」に、避難所運営委員会が自動参集し て自主的に避難所を開設するためのもの。

<突発的かつ大規模な災害とは>

- ○震度 6 弱以上の地震が発生した場合
- ○災害対策本部長(市長)が指示する場合

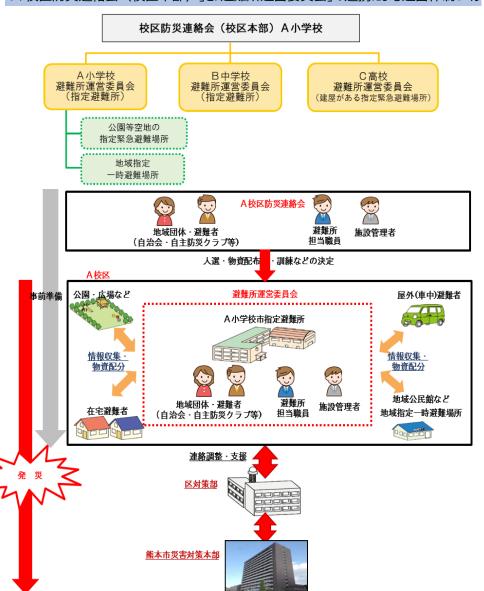
★風水害等で、局地的な場合の避難所の開設・運営は、災害対策本部長(市)が災害の状況に応じて避難の勧告や指示を行うほか、避難所の場所を定め、開設を指示し、担当職員・施設管理者を派遣して開設・運営を担わせる。

2. 避難所開設・運営のための3つの方針

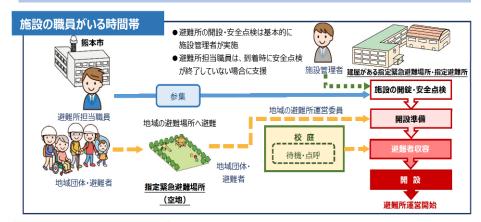
方針1

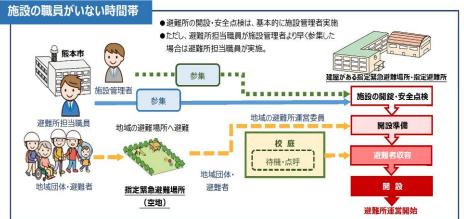
避難所は校区単位で「地域団体・避難者」、「避難所担当職員」、 「施設管理者」の協働による運営

●「校区防災連絡会(校区本部)」と「避難所運営委員会」の連携による運営体制づくり



●「避難所担当職員」と「施設管理者」による避難所開設

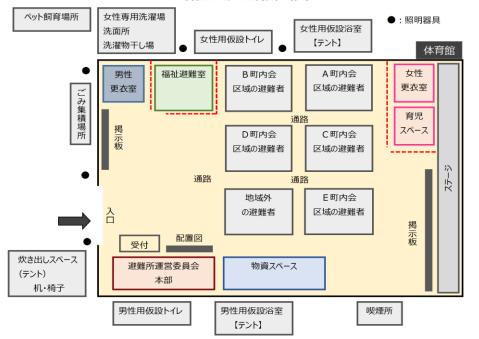




方針 2

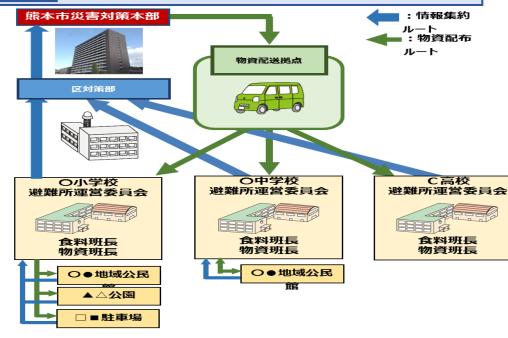
- ・避難所においても良好な生活環境を確保
- ・要配慮者にも優しい避難所づくり、男女共同参画の視点に配慮した避難所づくり

<居住区域の割り振り(例)>



方針3

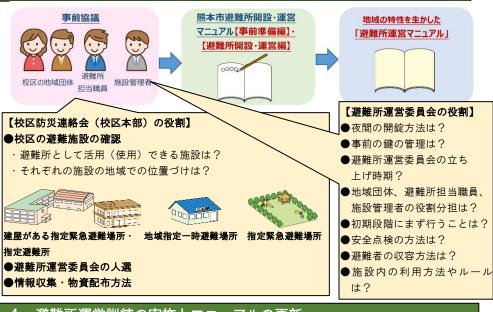
情報収集・物資供給の強化



【別紙1】

●市の災害対策本部は、区対策部を通じ「校区防災連絡会(校区本部)」と 定期的に連絡をとり、校区ごとの避難所・避難者数などの情報収集を行い、 物資供給計画を立てる

3. 避難所運営のための「事前協議」と「避難所運営マニュアル」の作成



4. 避難所運営訓練の実施とマニュアルの更新

●避難所運営マニュアルは、避難所運営訓練などを通じて、気づいた点などを 関係者で再度話し合い、必要に応じてマニュアルの更新を実施。





HUG(避難所運営ゲーム)の様子

炊き出し訓練の様子